

常任委員会の調査活動（3月議会報告）

<p>環境にやさしい農業 火葬場の管理運営を調査</p> <p>実施日/平成16年8月25日、11月24日 平成17年1月26日～28日</p> <p>調査先/環境産業部、紫波町、水沢市、兵庫県 丹波市・篠山市</p> <p><b>産 業 建 設</b></p>	<p>教育委員会の所管に属する 教育機関の運営状況を調査</p> <p>実施日/平成17年1月26日</p> <p>調査先/教育部</p> <p><b>教 育 民 生</b></p>	<p>仮称巣子駅関連整備 を調査</p> <p>実施日/平成17年1月26日</p> <p>調査先/経営企画部</p> <p><b>総 務</b></p>
<p><b>環境にやさしい農業の推進</b> 環境保全型の農業を推進することは、多様化する消費者のニーズに対応するためにも、また地球の環境保全の面からも今後益々重要となってくる。 一方、生産者にとっては、生産コストの増大、作業の煩雑化等決して容易に取り組めるものではないが、村内においても更に推進されることを期待する。 環境保全型農業が推進されるためには、行政の指導のもと農業者及び地域、生産組織等が一体となり取り組む必要があり、生産から販売までの流通を含めた中での検討が必要であると考えます。</p> <p><b>火葬場の管理運営</b> 広域事務組合で整備した施設と自治体が単独で整備した二つの施設を調査したが、近年の施設は火葬と斎場を兼ね備え火葬から告別まで安価で行えるなど使用者のニーズに応じた施設となっている。 しかし、このような施設を整備する場合は、数十億円の整備費を要するなど相当の事業費が必要となることも事実である。 よって今後、整備の必要性、広域での整備等について充分議論する必要があると考えます。</p>	<p><b>滝沢村公民館事業</b> 公民館施設の老朽化が激しく、対処的処置では安心して使用できない状態になってきている。5万人にふさわしい生涯教育の場として図書機能を含めた施設を民間手法を取り入れた構想として打ち出す時期にきている。</p> <p><b>湖山図書館事業</b> 幼児、児童に対する図書に親しむ機会の充実も重要であり、移動図書館車の保育園、幼稚園、学童保育クラブへの定期訪問、親子の読み聞かせ、ボランティアなどの多様な活動を考えるべきである。</p> <p><b>滝沢ふるさと交流館</b> 施設が他地域での拠点としてあればという村民の思いは強いが、交通のアクセスを含め、さらに創意工夫による利用度の高い施設として期待する。</p> <p><b>滝沢村埋蔵文化財センター</b> センターの現状は、見つかった遺跡の整理が追いつかず、復元もなかなか進んでいない状況であり、今後の保管場所の問題や開発による遺跡の調査計画を検討すべきである。 各施設とも費用対効果、施設減免のあり方、指定管理者制度の考え方を早急に整理し、利便性と利用度の高い施設とすることが重要である。</p>	<p>（仮）巣子新駅設置については、18年3月を開業目標時期と定め業務が進んでいる。 これまでもマスコミに大きく報道されたことである。第一に、新駅の設置場所の土地価格が異常に高騰し、地上げが行われたのではないかと、という疑惑問題。第二に、新駅の設置場所に係る農地取得についての農業委員会の業務対応の問題である。 これは、一旦不許可にしたものを、同内容であるものを許可したことにより、これは投機目的ではないかと、という疑惑問題。第三に、当局は、住民に対して十分説明を行ってきていると説明しているが、現実には、住民説明会の状況を見る限りでは、住民に対し十分に説明がされたのか、また、住民との対話がなされたのか疑念を覚える。 このような不安要素を一刻も早く解消し、文字通り住民参画により、住民の理解を得、前述のような状況を当局は十分に認識し、真摯に計画が遂行されるよう全力を傾注すべきである。</p>

情報公開

議長交際費 内訳 / 2月～4月

<p>議長交際費とは</p> <p>議長が議会の対外的活動をするために要する経費です。また、冠婚葬祭、活動行事関係などがあります。</p>	月	冠婚葬祭		お祝、会費	
	2	1件	5,000円	2件	20,000円
	3	0件	—	3件	8,000円
	16年度累計	3件	15,000円	46件	200,329円
	4	1件	20,000円	2件	6,604円